



珙瑯（ホーロー）看板の魅力

現在博物館では、開館25周年記念企画展「昭和のくらし 昭和のまちなかど」を、2月27日まで開催しています。

本展の魅力の一つは、壁一面に張り付けられた懐かしい珙瑯看板の数々です。珙瑯看板は、鉄などの金属の素地に釉薬を塗って焼成し表面をガラス質にすることで、高い耐久性をもたせ、かつては野外看板の素材として利用されてきました。

「博物館」「プラネタリウム」「四日市公害と環境未来館」の見どころなどを紹介します。

開館時間 9:30~17:00(観覧会への入場は16:30まで)
2月の休館日 4日(月)・12日(火)・18日(月)・25日(月)
※2月11日(祝)は開館します
3月の休館日 4日(月)・11日(月)~15日(金)・18日(月)・25日(月)



道を歩いていると、今でも街角の珙瑯看板を見掛けることがよくあります。最盛期の昭和30年代から40年代にかけては、店頭や民家の壁面など、人目につく場所には必ず珙瑯看板があり、当時の広告手段の主役であったと言えるでしょう。

珙瑯看板に見られる独特の手作りの感やコピーの面白さには、昭和ならではの人々の暮らしぶりや当時の世相が見事に描き出されており、改めて珙瑯看板を見ていくと、昭和の時代がよみがえってきます。

「あの時、テレビが家に来たんだ」「あの風邪薬はいつも家にあったな…」昭和世代の人には懐かしく、平成世代の人には驚きと関心をもって、観覧していただけるのではないのでしょうか。



問い合わせ先

博物館

☎355-2700 FAX355-2704



第12回

偽ブランド商品が届いたけれど、業者と連絡が取れなくなった?!

【相談事例】

インターネット通販で格安で販売されていたブランドの財布を購入したが、届いた商品は偽物だった。メールで返品・返金を求めたが、何度送信しても返事がなく、電話番号も使われておらず、販売業者と連絡が取れない。商品の発送元は海外のようだ。

市民・消費生活相談室に寄せられた相談事例などから、安全に安心して消費生活を送るために役立つ情報をお知らせします。

【アドバイス】

実物を見られない通信販売での買い物にはさまざまなリスクが伴います

通信販売ではクーリングオフが適用されません。また、たとえ偽物が届いたとしても、販売業者に返品・返金を求めることは極めて困難です。

トラブルに遭わないために、

- ①事業者の所在地や電話番号が日本のものか、実在するものかを事前に調べて確認しましょう
- ②不自然な日本語が使われている場合や、大幅に値引きされている場合には注意が必要です

- ③クレジットカードで購入した場合、カード会社には早目に連絡し、事情を説明しましょう



■この記事に関する問い合わせ先
市役所1階 市民・消費生活相談室
☎354-8147 FAX354-8452
■契約トラブルに関するご相談は
相談専用電話 ☎354-8264
受付日時 月~金曜日
(祝日・年末年始を除く)
9:00~12:00、13:00~16:00

有料広告掲載欄

~創業160有余年の信用と実績 お葬式・家族葬のことなら24時間365日お電話ください~



株式会社 ふじや本店

光倫会館
☎0120-114248

■本社/四日市光倫会館
〒510-0836 四日市市松本町北大谷2015
【TEL】059-351-1151 【FAX】059-351-4224
■光倫会館 桜ホール
〒512-1211 四日市市桜町6613
【TEL】059-325-2482 【FAX】059-325-2483
■富田光倫会館
〒510-8014 四日市市富田2丁目3-7
【TEL】059-361-2481 【FAX】059-361-2482

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。